

2日目は「白谷雲水峡」。「憩いの大岩」を登り「飛流おとし」のせせらぎを聞きながら、苔むした「ものけの森」に到着。二股の幹の「くぐり杉」を抜け、7本の枝を広げる「七本杉」を見上げた。夜は屋久杉を使った工作に集中。



3日目に訪れた「大川の滝」は屋久島最大の名瀑。海に面した「西部林道」では世界遺産の生態系を学習した。樹から下がった気根が特徴の「中間のガジュマル」も観察。乗生では島の青い空と海を満喫した。

**島でしか触れられない
深緑の息吹を感じて**

屋久島は総面積の約9割が森林。海岸の照葉樹林から山頂部の森林限界まで豊かな樹林が広がります。そんな水の恵みによる生態系を凝縮した場所が2日目に訪れた「白谷雲水峡」でした。映画「もののけ姫」のモデルになったように、うっそうとした樹林は杉の天井と深い緑に覆われて苔むし、清流の音が心地よく響く中、朝露にきらめいていまし

**感動的で、愛おしくて、
かけがえのない島の鼓動…
悠久の時を刻む大自然に触れた。**

子どもたちは現地ガイドの丁寧な説明を受け、登山客とあいさつを交わしながら、目的地の「太鼓岩」まで往復4時間のコースを完歩。倒木の上に次代の株が生え、幾世代にもわたって自然の営みが繰り返されてきた姿を目の当たりにしました。

Impression

研修に参加して

私たちはつながっている

屋久島を訪れて、自然は動植物だけでなく、私たちとつながっていることを強く実感しました。私たちにできることは、まず身近な自然を守ること。もっと環境に関心を持って、知識を深めなければならないと感じました。また、団体生活では班活動やそれぞれの役割とルールの大切さを学びました。これから



は自然とのつながりを意識しながら、屋久島で得たことを生かしていきたいと思えます。

市場小学校6年
山鹿 美帆さん



思いを最終日にまとめる。一心に書き上げた感想文。

**生かし生かされている
ことに気付いた島**

世界遺産登録区域の「西部林道」は、照葉樹が茂る豊かな森。3日目にここを訪ねた子どもたちは「ヤクザル」や「ヤクシカ」の出迎えに歓声を上げながら、命のつながりや現在を直視する環境課題を学びました。また、巨大な花こう岩が露出する「千尋滝」や水しぶきを上げて88mの落差を豪快に流れ落ちる「大川の滝」も観察。岩と水が織りなす「水の島」を象徴する絶景も心に焼き付けました。

山々が歓迎してくれたのか「毎日どこかで雨が降る」といわれる屋久島の4日間で、雨にあうことは一度もありませんでした。不思議なことに、この島で自然の生命力の中にと、自分自身の命や存在を実感します。今回の研修で、自然や環境によって生かされていることに、多くの子どもたちが気付きました。澄んだ水と空気、屋久杉の香り、立ち上る雲、胸の高鳴り…。この島ですべての出会いと貴重な体験は、子どもたちにとって、かけがえのない「学び」へとつながりました。



洋上のアルプス
自然の楽園
少年のバスで
屋久島

The world heritage
YAKUSHIMA

屋久島の風を感じながら、はるか奥岳を望む。研修2日目の目的地は標高1080mの「太鼓岩」。大パノラマの圧倒的なスケールに出会った瞬間、子どもたちは感涙を浮かべ、言葉を失った。

世界遺産 体験学習録

屋久島に学ぶ

独自の地形に育まれた最高の自然環境を誇る屋久島。この世界遺産の島で30人の福智っ子が、見て、触れて、学びました。その体験学習の一面をレポートします。

福智から高速バスで移動し、鹿児島南埠頭から高速船で屋久島へ。初日は環境文化センターで屋久島の自然を学び、夜は宿泊する環境文化研修センターで天体観測。翌朝、念願のヤクシカとヤクザルに出会うことができました。



**その特異な地形と
生命の源を知る**

九州最高峰の宮之浦岳をはじめ1千800m以上の高峰が連なり「洋上アルプス」とも呼ばれる屋久島。九州南端から60km南にある周囲130kmのこの島は「最高の自然美と重要性を持ち、動植物進化の貴重な過程を示す見本」として、平成5年、日本初の世界遺産に登録されました。その自然の楽園を舞台に、7月21日から3泊4日の日程で行われた「福智町青少年自然環境体験研修」。小学4年から中学2年までの30人が参加し、大自然の息吹と鼓動を体感しました。海上に孤立し、標高差の大きい屋久島は、直接海に流れ込む滝もある斜面の島。その特異な地形が、沿岸の亜熱帯から山頂の冷温帯までの多様な気候分布をもたらしていました。山岳地帯の年間降水量は約8千mm(福智町は約2千3百mm)。黒潮から水蒸気を含んだ空気が斜面を一気にかけ上がり、雲となって多量の雨を降らせませす。「月に35日は雨」と言われる豊富な水量が、屋久島の生命の源となっていました。



3日目に見学した「千尋滝」。島に降る雨はいく筋もの川となつて一塊の巨大な花こう岩をも削り、V字谷の壮大な景観をつくりだしていた。